

へばだば

60

編集・発行：自立生活センターPingあおもり・就労継続支援B型事業所スタジオとまと・特定非営利活動法人ピアネット
038-0011 青森市篠田1-8-1 エムズコーポ101/tel.fax：017-761-2770/e-mail：ping@ping-aomori.jp
http://www.ping-aomori.jp/ping_page/index.htm 発行責任者／佐藤 広則

「へばだば」＝津軽弁で、「じゃあね」というような意味。

市庁舎探訪

表題：白戸駿平

～アウガは、どんな変貌を遂げたのか？～

今年1月__。青森市はワンストップサービスを実現させるため、駅前再開発ビル『アウガ』に窓口機能の大半を1～4階部分に移転し、「青森市役所駅前庁舎」としてリニューアルした。そこで、今回は駅前庁舎のバリアフリー状況について調査してきた。

庁舎内には、エレベーターが4基設置されており、そのうち1基は立体駐車場と接続されている。

1階は、障がい者支援課、高齢者支援課、総合案内や市民課などの市民が主に使う部署が集約されている。4フロアで最も明るい1階の総合案内付近には、点字ブロックが敷き詰められており、視覚に障害を持たれた方々に優しいなと感じた。点字ブロックが全面的にあるのは1階だけである。市民課受付カウンターの頭上には、呼出番号や待ち時間、市政情報などを表示する液晶画面もついており、非常にわかりやすいなと感じ、一目でパッと分かるシステムは聴覚に障害を持たれた方々にもいいなと感じた。

1階で一番驚いたのは、障害者用トイレだ。自動開閉ボタン付きのトイレの中にはカーテンが付けられており、4フロアで唯一オストメイト用の器具や介助用ベッドも設置されている。障害者用トイレは各階に設置されているが、1階は最も設備面で豪華だと感じた。

【裏面に続く】



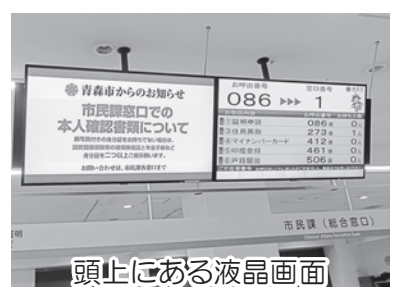
庁舎入口



庁舎内エレベーター



1階だけの点字ブロック



頭上にある液晶画面



1階トイレ入口



1階トイレの内部

60
号
も
く
じ

市庁舎探訪	1・2	相談支援事業所ピアネットの『たまには聞いてよ。』	4
青森県立保健大学で講演会	2	創作短編小説「愛のあいさつ」	4
とまとの収穫祭	3	お花見のお知らせ	4
PSCAジャーナル	3	2月の昼食会	4
「シュミ活」のご案内	3	編集後記	4

2階は、子育て、税務関係の課が集約されている。4フロアで1階の次に明るい2階は、1階とは障害者用トイレの場所が若干異なっている。

3階は、環境、経済、教育委員会の課が集約されている。3階は、天井が無機質な影響からなのか少し暗い印象を受けた。

4階は、福祉政策課、選挙管理委員会などの各課が集約されている。2～4階は、トイレの位置はほぼ変わらず、一般的な障害者用トイレであるが、3階の便器だけは形がいびつで使い辛そうだと感じた。3階のトイレは、個人的にオススメしない。

5階に男女共同参画プラザが入っており、6階から8



2階トイレ



3階トイレ



4階トイレ

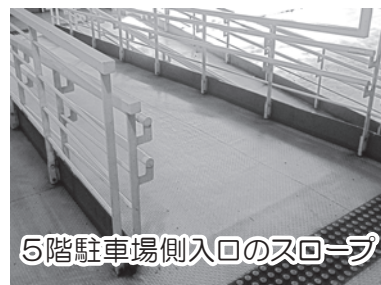
階が市民図書館である。5階からは、改修されていない。

5階のスロープがついた駐車場側入り口からだと入りやすい気がするが、どの階からでも庁舎にアクセス可能である。

市庁舎としての機能は至る所に案内板がついているなど完璧だと思ったが、バリアフリー面ではオストメイト用器具がついているトイレはもう一つあればいいというのと、点字ブロックが全

面的にあればいいのかなと感じた。庁舎内を回っているときに、エレベーターの前で白杖を持たれた方が待たれていたことがあった。視覚に障害を持たれた方々が2～4階に行くときは、とても大変なのだろうなと感じた。

(文・白戸駿平)



5階駐車場側入口のスロープ



案内板の一例

青森県立保健大学で講演会

1月25日に、青森市障がい者自立支援協議会の委員のなかで障害をもつ6人の委員による講演会が、青森県立保健大学であった。社会福祉学科の1年生に向けたもので、あおり24から講師として佐藤広則と、ひとりでは頼りないので学生たちと同年代の白戸駿平とふたりで出席した。

60名近い受講生の前で、各委員が7分の持ち時間で話をした。最初に身体障害の野呂委員が、日頃の生活や社会参加の様子と個人情報保護法が障害者を訪ねるときに邪魔をするという話があり、次に佐藤が、重度の障害者が自立生活するために必要なことや大変なこと、白戸が日本のバリアフリーがまだまだ不備なことを訴え、15年ほど前に目が見えなくなった田中委員は、66歳になってから点字を覚えたこと街で白杖を持って迷っていきそうな人を見かけたら声をかけてほしいこと、重症心身障害児者の親の谷川委員は、相模原の施設での事件に言及し障害者もその家族も不幸ではないいろんな人がお互いを認めあって住みやすい社会になってほしい、聴覚障害の木村委員は、手話を言語として認められるための取り組みをしていることデフ

リンピックという聞こえない人のオリンピックがあること、知的障害の藤川委員は、知的な障害は見た目ではわからないのでどこに障害があるのか説明がむずかしいがいろんな障害があることを知ってほしい、という内容の講義だった。

その後の受講生からの質問の時間では、今年成人式だった白戸が式に出席しなかったことを受けて、障害者を分けて行う成人式をどう思うかとか、24時間テレビをどう思うかとか、障害者の日常生活についての質問があって、それぞれの委員が答えた。

受講した学生の皆さんはとても真剣に講義に耳を傾けてくれた。後日にいただいた感想文を読んでも、それぞれの委員にまんべんなく関心が向けられていて、佐藤と白戸についても、ヘルパーを利用することについて考えてもらったり行動力に感心してもらったりして、私たちが伝えたかったことをよく受け止めてもらえたと思う。

感想文には、「ふだんは障害をもつ人と身近に話す機会がないので…」というような言葉があちこちに見受けられた。私たち障害者は、自分の方からもっともってあちこちに出没して社会に存在をアピールしていかなくてはならないのだなあと感じた講演会だった。

(文・佐藤広則)



講義をしている委員のみなさん



白戸

佐藤

とまとの収穫祭

2月は恵方巻き作り

- 指示出しして恵方まきを作りました。最初、ご飯の量が多かったので三分割で海苔に乗せていき、その上に具を順番に乗せ、割と綺麗に仕上がりました。自分で作るとそれだけ美味しくなるんだなぁと改めて思いました。(S.S)



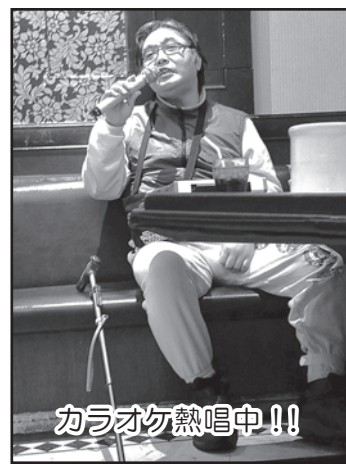
うま〜指示出しできるかな？



恵方巻き完成!!

3月はカラオケランチ

- 久々のとまとでのカラオケで9人も参加で2部屋に分かれてしまうくらい皆カラオケが好きなんだな、という初めての大人数カラオケになってびっくり。カラオケはとても楽しかったです。(R.S)
- 初めてのカラオケ参加で最初はドキドキモンでしたが、一曲歌い、昔の若い頃の事を思い出し、次から次へと昔のJ-popなど歌いまくり、皆に歌い過ぎと言われるほどでした。(それが反省点でした) 次回からは少し抑え気味で歌っていこうと思います。(M.S)
- あらかじめ、レパートリーを決めて行きました。今回は、2つの班に分かれて歌うことになりました。私は、安室奈美恵や華原朋美を歌ったんですがさすがに、声が高くて、終わった後、声がガラガラしました。(Y.N)



カラオケ熱唱中!!!

電動車いすサッカーチーム

PSCA ジャーナル

プレーヤーサポーター大募集中です。

電動車いすを持っていない方でも、共用の車いすがあるのでプレイできます。

練習場所：一高養体育館

時間：17:00~18:30

※都合により練習の中止など変更があることもあります。

参加希望の方は事前連絡頂けると幸いです。

詳しくは e-mail:tomato@ping-aomori.jp

代表：佐野まで

PSCあおもり年間練習予定

年	月	日	曜日	時間
H30	4	20	金	17:00~ 18:30
	5	11		
	6	15		
	7	6		
	8	24		
	9	7		
	10	5		
	11	16		
	12	7		
H31	1	25		
	2	8		
	3	15		

「シュミ活」のご案内

スタジオとまとと相談支援事業所ピアネットでは、ひと月に2回、利用者が少ない土曜日の午後を活用して「シュミ活」を行っています。この3月までは、大人のぬり絵や色鉛筆などを準備して、手ぶらで参加できるイベント「絵、描こうよ」をやってきました。静かにのんびりまったりできる時間でした。4月以降はさらに「ボッチャ」を何回かやろうかな~と思っているところです(詳細は未定)。他に、人工呼吸器を利用しながら日常を送っている方達のドキュメンタリー映画「風は生きよという」の上映会もやりたいな~。

皆さんからも「こんなことをやってほしい」という希望がありましたら是非ご提案ください。



★連載コラム★

◆相談支援事業所ピアネットの『たまには聞いてよ。』◆

～相談を受ける人々～

阿部 崇

みなさんこんにちは。もう春ですが、冬は好きですか？はい私も嫌いです。大雪の朝、雪かきをすると、仕事前に燃え尽きてしまいそうになります。

雪のことでイライラしている人が多い中、テンションが上げ上げになる生物がいます。それはスキーヤー、スノーボーダー。

私も若い頃流行りに乗っかり、スキーボードというものはまっていました。

11月頃になるとソフソフしだし、12月にはすでに大雪が降っていることを想定して、スキーにワックスをかけたり、家の中で試し履きをしたりして怒られたものです。

ある冬、スキー仲間の1人から、スキーに行くと痔が悪化する。という解散宣言があり、スキーから離れて10年以上が経ちました。

毎日毎日積もる雪が憎いだけの年月を過ごしてきましたが、娘が小学校に入学すると、スキーの授業があるそうで、スポーツ店でスキーを購入しました。

ふつふつと湧き出るスキー欲。娘と一緒にスキーができればどんなに楽しいだろうか。

いや待てよ。スキーにも流行り廃りがある。10年も前のスキーウェアを着て恥ずかしくないのか。そもそもスキーボードって最近ほんと聞かない。大丈夫か？昔の仲間はゲーム上の戦場に行っただけ。大丈夫か！？

よし！スキー相談支援事業所に相談だ！？



◆創作短編小説◆

愛のあいさつ

作 ミューズ(とまと利用者)

ある 女性がいます。

彼女には好きな男性がいて、付き合っていた。

彼の名前はエルガー、かけ出しの音楽家。

でも、2人には2つの問題が。

1つは身分、もう1つは宗教のちがいがだった。

でも、彼女は 彼と一緒にいたかったので、決めたのだった。

彼と同じ宗教に変えることを。エルガーは驚くが、嬉しかった。

自分の才能を認めてくれた人と付き合うことができるなんて…。天にも昇る気持ちのようだ。とエルガーは神に感謝した。

付き合ってから3年目のある日、彼女は記念に何かプレゼントをと思い詩を贈った。

エルガーは、そのお返しにと、ある曲をプレゼントした。

タイトルは“愛のあいさつ”というものだった。

エルガーはこの曲で彼女に感謝を伝えた。

彼女もピアノが弾けたので2人で一緒に、今でもこの曲を演奏している。

お花見のお知らせ

日時：4月27日 11時～14時

場所：「合浦公園」※雨天時はショッピングセンターでの昼食・買い物となります。いずれの場合も昼食などは自己負担となります。送迎はありません。詳細は決まり次第お知らせいたします。



2月の昼食会

スタジオとまとでは月に1度昼食会を行っています。(希望者のみ)

2月のメニューはコロッケ定食でした。



昼食会の様子

編集後記

■もう春は目の前。服装も軽やかになりつつ体調管理に注意したいです。(袖)

■新年度。気持ちを入れ替えて、頑張っていきたいと思います。(s.s)

■平昌オリンピック楽しかったです。ですよー！でしたっけ？(A)

■大相撲は1年に4回でいいよね。しつこいけど(広)

■「エア花見」っていうのが流行っているそうです。室内にお花を飾って…なんか風情ないな。(S)

■スタジオとまとに防犯カメラが付きまして。モニターが鮮明で自宅にも欲しくなりました。(西滝)

■雪が解けた隣の空き地との境界の低いブロック塀のそばに咲く紫色のクロッカス達。その横に見覚えのない高さ25cm位の壺が。誰が何のために？中身は何？(M)